

宇宙航空研究開発機構（JAXA）に 「RoboVib スキャニング振動計システム」を納入 ～ 航空宇宙業界では世界初、一般外部利用者への有償供用も検討～

光学計測のリーディング・カンパニーであるポリテックジャパン株式会社（横浜市港北区、代表者：高橋利彦）は、2010年3月、「RoboVib スキャニング振動計システム」を（独）宇宙航空研究開発機構（以下：JAXA）研究開発本部 機体構造グループ様の研究設備として納入いたしましたことのお知らせします。



多軸振動非接触自動計測システム MaVES（RoboVib スキャニング振動計システムを含む）
（写真提供：JAXA）

本装置は JAXA 調布航空宇宙センター 飛行場分室（東京都三鷹市）に納入され、JAXA と共同開発した計測モジュール、および測定した振動データの解析用ソフトウェアと合わせて、「多軸振動非接触自動計測システム（MaVES）」との設備名称が付与されています。本システムの用途としては、風洞模型や小型実機の振動特性計測に加え、空力弾性やヘルスマニタリング、振動試験技術の研究が挙げられます。

■ RoboVib システムの概要と特長

RoboVib スキャニング振動計システム（英語名: RoboVib Structural Test Station）は、ポリテックのハイエンド 3D スキャニング振動計「PSV-400-3D」のセンサヘッドを、産業用多関節ロボットアームに搭載し、双方のコントローラで測定作業を自動制御することで、振動測定効率の大幅な向上を実現します。

RoboVib システムでは、測定作業の中で最もマンパワーを必要とする位置決めから、スキャン、測定セグメント間の移動まで、振動センサとロボットアームを統合する専用プログラムで制御することで、スムーズかつスマートな振動測定を可能にしました。

アプリケーションは、測定要件に応じたロボットを選択することで無限に広がります。また、振動センサには非接触型のレーザを採用しているため、大型、高温、複雑な形状を持つターゲットや回転体の表面などの測定にも柔軟に対応します。

たとえば、1500～2000 測定ポイントの 3D 振動測定が数時間で完了し、かつ自動化＝無人測定することで夜間や別作業中の測定も可能になるため、プロジェクト全体の生産性が大幅に向上します。

これらの特長が評価され、RoboVib システムは、宇宙航空業界では世界初となる納入実績を獲得いたしました。

■ 外部利用者に有償供用の可能性も

JAXA では産学連携活動の一環として、所有するさまざまな研究・実験設備を有償で利用できる「試験設備等供用制度」が整備されています。本「多軸振動非接触自動計測システム（MaVES）」もその制度の対象となるよう現在検討が進められており、実現すれば、航空宇宙産業に限らず一般企業や教育機関による研究開発に利用することが可能になります。

JAXAの「試験設備等供用制度」の詳細については、<http://stage.tksc.jaxa.jp/aerospacebiz/facility/> で確認することができます。

【 ポリテックジャパン株式会社について 】

代表取締役： 高橋 利彦

所在地： 神奈川県横浜市港北区新横浜3-1-9 アリーナタワー 13F

ホームページ：<http://www.polytec.co.jp>

設立： 2004年5月

資本金： 2000万円（ドイツ本社 Polytec GmbH 100%出資）

事業内容： レーザ振動計などの光学計測装置およびその他の関連機器の輸入

販売 光学測定機器の導入コンサルティング

保守、定期点検、有償計測、技術者派遣などの技術サービスの提供 など

※ 製品の詳細については、ポリテックジャパン ホームページ (www.polytec.co.jp) の「RoboVibスキャニング振動計システム」ページをご覧ください。

以上

お客様・関係各社様からのお問い合わせ先

ポリテックジャパン株式会社

営業部

TEL: 045-478-6980

info@polytec.co.jp

www.polytec.co.jp

報道関係のお問い合わせ先

ポリテックジャパン株式会社

マーケティング部 須永（すなが）

TEL: 045-478-6980